

2-2

米国株投資方法

3つの投資方法

米国株に投資する方法は、次の3つがあります。投資信託、ETF、個別銘柄への投資です。違いを簡単に解説します。

投資信託は、日本の運用会社によって運用されるファンド（投資信託）に投資する方法です。ファンドは複数の金融商品に投資して運用実績を出し、それを投資家に還元します。

ETFは、仕組みは投資信託とあまり変わりません。投資信託との違いは、投資信託は非市場で、ETFは上場しているという点です。また、取得価格も異なります。投資信託に投資する場合は毎日算出される基準価格で投資（取得）しますが、ETFは上場しているので、市場



※ 投資信託のイメージ図



※ ETFと投資信託の違い

項目	ETF	投資信託	
市場・非市場	市場	非市場	
売買取引	取引所の取引時間中	申込期間中の6時～15時	
取得価格	リアルタイムで変動する価格	1日1回算出される基準価格	
コスト	取得時の費用	市場で取得する際に、証券会社により異なる売買委託手数料	ファンドによって、また販売会社ごとに異なる販売手数料
	保有報酬	0.00%～0.05%	インデックス型投資信託 0.00%～0.15%
	売却・解約時の費用	市場で売却する際の売買委託手数料など	信託財産留保費や換金手数料がかかる場合がある
IDeCo適正	×	○	
つみたてNISA適正	× (国債のみあり)	○	

で決まる価格で取得します。

前ページの表に、投資信託とETFの違いを一覧にしました。米国ETFに非常に魅力的な商品が多いために、筆者はETFを主に活用しています。

個別銘柄投資は、企業単位の株式に投資をすることです。コカ・コーラ（KO）、マクドナルド（MCD）といった企業が発行している株式に直接投資をすることですね。

「Ticker（ティッカー）」について

さきほどの個別銘柄の例で紹介した「コカ・コーラ（KO）」のように、個々の銘柄を個別認識するためにつけられた符丁を「Ticker（ティッカー）」（あるいは「Ticker Symbol」など）と呼びます。Tickerは1〜4文字（稀に5文字のもの）で、多くは企業名を省略したものになっています。また、ETFにもTickerがついています。

本書では、銘柄の紹介の際に、企業名に続けてTickerを記載しています。